

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和年 7 月 10 日
氏 名: 齊藤 杏菜
留学時所属 & 学年: 国際地域学部 国際地域学科 4 年

留学先大学	漢陽大学校
留学先国	韓国
留学期間	2 学期間
留学開始 - 終了日	2018 年 9 月 3 日 - 2019 年 6 月 22 日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

語学力の向上と、異文化の中で生活することによって積極性を向上すること。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

4 月頃から始めました。ビザやクレジットカード、現地で現金を引き出すためのカードなど、時間のかかるものから準備を始めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

元々は英語圏に留学してみたいと考えていましたが、1 年生の時の PBL でタイに行ったことがきっかけでアジアの国に留学に行きたいと思い、以前から文化や言葉などに関心のあった韓国を留学先として決めました。アジアでは英語だけでなく、現地の言葉も学べることも魅力の一つだと感じました。大学の情報はホームページがほとんどでした。漢陽大学から入学許可証が届いてからは頻りに留学準備(寮の申請、履修登録、SIM カードなど)や大学到着後(イベントや外国人登録証など)のことなど細かくメールが来たのでとても助かりました。分からないことがあった時はメールをすればすぐに返信が来ました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL ITP を 1 年生から 8 回くらい受験しました。交換留学に最低限必要な 530 に到達するまで、あと一步のところまで 3 回連続で同じスコアをとったり、そこからまたスコアが下がったりしたが、最終的に 550 を超えることができ、希望の大学に行くことができました。私は図書館 2 階にある LDC に通って、そこにある TOEFL の参考書を使って勉強しました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

留学先大学からのメールの情報がとても助かりました。最初に何日にどんな情報を送るのか、という内容のメールが来て、その後、その内容通りに留学準備や留学先大学に到着してからのことなど、細かく情報が送られてきたのでとても助かりました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

大学のホームページからは過去に開講された授業のタイトルくらいしか分かりませんでした。ただ履修登録を渡航前に行うのですが、登録期間前に授業のタイトル、内容(乗っている授業とそうでない授業がある)、曜日・時間、担当教授などを確認できるので、あらかじめホームページを見て考えて置いて、授業について詳しく情報を見れるようになってから履修登録や単位認定について本格的にもう一度考えるのがよいと思います。ただ、韓国の履修登録は先着制で 1, 2 秒で埋まってしまう授業もあり、自分が考えていた通りに授業をとることは難しいところがありました。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

とても広くのびのびとした雰囲気でした。ただ、きつい坂や階段が多いです。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学構内は全て Wi-Fi があったので便利でした。ジムもいくつかあるようですが、無料で利用できるものではなかったと思います。図書館はとても広く様々な部屋(席を予約できる所、グループ学習室、睡眠室など)があるので便利でした。これらの部屋は漢陽大学図書館アプリ(携帯)で予約できるのでとても便利です。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

ダンスサークルに所属していました。部員は現役が約 50 人、公演の時にはさらに上の先輩も一緒に練習しました。活動内容は年に 2 回の定期公演、新年パーティーが主な公演で、その他では賛助公演、普段の基礎練習がありました。



B. 授業や勉学

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Marketing Management (임명섭)●時間数/週(単位数): 90 分 × 2, 3 単位●クラスの学生数: 約 50 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): マーケティングマネジメントについての基礎的な内容。基本的に授業中はパワーポイントを用いて説明します。グループでのプレゼンテーションや教科書内の問題についてのディスカッションも行いました。中間試験では 4 択の選択式の試験、期末試験では 4 択の選択式の試験に加え、授業内容の要約レポートがありました。
2	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Tourism Information Marketing (정철)●時間数/週(単位数): 90 分 × 2, 3 単位●クラスの学生数: 約 40 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等):

	<p>観光についてのマーケティングについての内容。週の最初の授業は教科書に沿った内容について学び、後半の授業では前半で学んだ内容についてグループ活動をしました。(学習した内容を実際の空港会社やホテル、テーマパークなどに当てはめてディスカッションなどを行いました。) 課題は特にありませんでしたが、次の授業の資料を印刷して予習すると思います。試験は中間・期末ともに記述形式で4問程度出題されました。</p>
3	<p>●科目名(担当教員名): Introduction to Business Administration (류주한) ●時間数/週(単位数): 90分×2, 3単位 ●クラスの学生数: 約70名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 経営の基礎についての授業でした。ディスカッションはほとんどありませんでしたが、期末試験でグループでプレゼンテーションをするか、個人でレポートをするか選択することができました。中間・期末試験(プレゼンテーションまたはレポートに加えて)では、筆記試験があり、選択式の問題と記述式の問題がありました。</p>
4	<p>●科目名(担当教員名): Aesthetic Awareness in Modern World (Gary Joseph) ●時間数/週(単位数): 120分×1, 2単位 ●クラスの学生数: 約60名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 現代のアートについて様々な面から見る授業でした。絵画はもちろん、建物や食べ物などについても学びました。授業の初めに毎回その日の学ぶ内容に沿ってディスカッションを行いました。予習としては、その日に学ぶ章を読んでくる必要がありました。また、4回ほどミニレポートを書きました。期末ではペアで美術館などに行き、合同でレポートを作成しました。</p>
5	<p>●科目名(担当教員名): Cultural and Ethnic Diversity in Korea(S. Afflick-Smith)時間数/週(単位数): 120分×1, 2単位 ●クラスの学生数: 約60名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 様々な面から見る韓国での多様性についての授業でした。教授による講義と生徒同士のディスカッションが半々くらいの授業でした。2, 3週間に1回ディスカッションのグループが変わります。予習としては毎回その週に学ぶ内容の章を読んでくる必要がありました。</p>
6	<p>●科目名(担当教員名): Intensive Korean(Level 4)(김나연, 김지혜) ●時間数/週(単位数): 4時間×5, 13単位 ●クラスの学生数: 約12名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p>

	<p>全て韓国語で行われる授業です。教科書に沿って語彙・文法・対話・スピーキング・聞き取り・読み取りという風に勉強します。授業の中で話す機会が多いです。4級では2日に1回宿題が出て、語彙・文法・書き取りをします。(毎回先生がチェックしてくれます。) 通常授業の他にも文化授業で学校の外に出て文化体験をしたり、個人プレゼンテーションやグループプレゼンテーションをしたりする授業もありました。</p>
7	<p>●科目名(担当教員名): Clothing Materials (배지현)</p> <p>●時間数/週(単位数): 90分×2, 3単位</p> <p>●クラスの学生数: 約70名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>様々な繊維について特徴や構造について詳しく学ぶ授業でした。講義式です。中間・期末試験の前に2回ずつクイズがありました。中間・期末試験では選択・記述形式の混ざった筆記試験があり、期末では実験、レポートも課されました。この授業は英語開講だったのですが、韓国の生徒が多いこともあるせいか、教授が韓国語を使うときがとても多く大変でした。</p>
8	<p>●科目名(担当教員名): Introduction to Spanish (정동희)</p> <p>●時間数/週(単位数): 120分×1, 3単位</p> <p>●クラスの学生数: 約50名</p> <p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>基礎スペイン語の授業でスペイン語のアルファベットから学びました。韓国語開講の授業です。語彙や文法の他にも教授がスペインについての予備知識も話してくれました。予習は特に必要ありませんでしたが復習は必ず必要でした。ポータルにオンライン授業があるのですが、そこで復習をすることができます。そこでは教授の解説付きで練習問題もすることができます。</p>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

授業を全て聞き取って全てを理解することが難しかったので、予習をする際にどこが分からないのかをあらかじめチェックしておき、授業中は特にそこに集中して聞き取るようにしていました。また、パワーポイントなどがポータルに上がる授業が多かったので、それらを復習に使っていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

英語力・韓国語力の低さで課題などが理解できないときがありましたが、その時は周りの友達に聞くなどして解決しました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

留学生が多い授業や教授が韓国人ではない授業ではディスカッションが多かったように思います。(そこでの他の留学生や韓国人生徒の英語力はとても高かったです。)その他の授業では講義形式でした。留学生が少なければグループワークなどがあっても韓国語を使う生徒が多かったように感じました。(英語開講の授業でも)私はそれでも韓国語を練習する機会だと思い、そのような授業では韓国語を使いましたが、授業では英語に専念したい方であれば教授が韓国人ではない授業、または国際学部の授業を選択することをお勧めします。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

韓国語を学びたいという方がいれば、Intensive Korean の授業はとてもお勧めです 1～6 級まであるので韓国語をやったことが無い方も、勉強したことがある方も自分に合ったレベルで受けることができます。また、2 学期間留学をする方であれば、長期休み中も授業を受けられます。(例:1 学期目 1 級、長期休み 2 級、2 学期目 3 級、という風にとれます)先生がとても親身になって教えてくださいました。ただ、単位交換できないというのが欠点です…。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(2)人部屋
寮・アパート名	Rose Ville(1 学期目・オフキャンパス)、한누리관(2 学期目・オンキャンパス)
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 한누리관では地下 1 階に共同の洗濯機がありました。(1 回約 50 円) 1 学期目に住んでいた寮と 2 学期目に住んでいた寮の詳しい比較は 4 月の月例報告書に書いたもので、よければそちらを見てみてください。



左がハンヌリ館、
右がRose Villeです。

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

郵便局や ATM、コンビニ、書店などは学校内にあり、銀行もすぐ近くにありますが。薬局も近くにたくさんあります。近くの往十里駅に行けばスーパーはもちろん、ダイソーや雑貨屋、化粧品店、映画館など、デパートのように何でもそろっています。コンビニはたくさんあります。学校にも漢陽大駅があるので移動がとても便利です。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

日本からは VISA カードとキャッシュパスポートを持っていきました。最初はどちらも使ってましたが、現地で銀行口座を開設して、銀行アプリも携帯に入れたので、後半はキャッシュパスポートで現金を引き出してそれを現地の銀行口座に入れて現地のカード(新韓(신한)カード)を使っていました。新韓銀行にお金を入れておけばアプリを通じて友達や先輩にいつでもどこでもお金を送ることができるのでとても便利です。(飲み会や、サークルでのお金などで送金する場面が多かったです)留学中はほとんどカードで、現金を持ち歩くことはほとんどありませんでした。SIM カードへのチャージや交通カードへのチャージ、一部の飲食店などでのみ現金が必要でした。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

化粧水やメイク落とし、洗顔フォームなどは日本のものを持って行ってよかったと思いました。もちろん韓国でも買えますが、高いです。荷物に余裕があれば日本のものを持っていくことをお勧めします。服などは、日本よりも安く買えるのでそれほど持ってこなくてもよかったなと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝ウォン)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	68,000 円	食費	150,000 円
保険代	155,000 円	家賃	360,000 円
予防接種・ビザ代	10,000 円	教科書代	30,000 円
交際費(外食等)	150,000 円	その他	30,000 円

合計: 953,000 円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

日本と比べてせっかちな文化があります。特にバスでは停車する前に立ち、料金の支払い(カード)を済ませます。降り遅れないように注意が必要です。また、電話をする人が多いのですが、歩きながらはもちろん、電車の中でもする人が多いのですが、韓国ではタブーではないので特に気にしないようにするのがいいです。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

大学周辺には薬局がたくさんあります。
病院は大学病院が近くにあります。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

1 度眼科に行き、3,000 円ほどかかりました。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

渡航前は特に必要ありませんでしたが、渡航後、寮に提出するために X 線検査を現地で受けました。日本からは自分の鼻炎用の薬と痛み止め、解熱剤を持っていきました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前には英語力・韓国語力、2つの語学力の向上を目標としていましたが、途中で自分はそんなに器用ではないことに気づき、韓国語力の向上に専念することにしました。なので当初目標の1つであった英語力の向上はあまり達成できませんでした。ただ、韓国語の向上に専念したことで留学を始めた時よりも大分韓国語力は上達したと思います。韓国語力の上達の中で大切だと思ったことはやはり、積極的に会話をすることです。これはどの言語に対しても言えることですが、やはり実際に話して使ってみないと分からないことがたくさんあります。特に友達とも会話の中では、教科書では習わないような単語(大学生だからこそ使うような単語や略語)や表現などが多く出てきます。また、買い物をするときなど、お店の方と使う表現や単語は行く度に繰り返し練習できます。なので、韓国での生活の中で毎日韓国語に触れ、様々な単語や表現を繰り返し使ったり聞いたりするうちに覚えていきました。それに加え、春学期では1日4時間週5回の韓国語の授業で一生懸命勉強しました。分からないことはすぐに先生や韓国人の友達に聞いて、最後の授業では、私がクラスの中で1番の成績だったということを先生から聞きました。

また、自分のマイナスな気持ちのコントロール、克服が上手くできるようになったと思います。秋学期の授業が難しく、周りの英語力に圧倒されたり、韓国語面では、周りがネイティブばかりなので、みんなが当たり前話している韓国語が自分だけできないことにとてつもない劣等感を感じたり、気持ちの落ち込みが大きい時期がありました。しかしそんな時に友達と会って発散したり、自分の中で新しく気持ちを強く持ったり、様々な方法で落ち込んだ気持ちを以前より上手く持ち直すことができるようになりました。

また、韓国での留学生活をとして韓国のマイナス面、プラス面どちらも感じることができました。政治的なものを直接体験したわけではありませんが、生活する中で様々な運動に出くわすこともあったし、差別的な言葉を浴びせられることも1回あったし、あとは友達とも日韓関係について話し合う機会もありました。それらを通してニュースでは分からないようなことも学ぶことができました。私が体験したこともほんの1部でしかありませんがこれらの経験や感じたことを忘れずにいたいと思います。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

先ほども書きましたが、留学前の目標の1つであった英語力の向上が達成できなかったことです。最初の学期では英語も韓国語も…とやっていたのですが途中でこのままだとどちらも中途半端になると思い、英語よりも韓国語に専念しました。もう少し時間を上手く使って留学生イベントなどにより多く参加できていれば英語も少しは向上できたのかなと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

まずは帰国後すぐの韓国語能力試験で最低 4 級(授業で学んだレベル)は取得すること。また、その後も受け、最高レベルである 6 級を取得すること。少しでも韓国語を活かせる仕事に就けたらと思います。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

漢陽大学校は、英語・韓国語、両方ともしっかり学べる環境が整っています。私のように韓国語に専念するのも 1 つの方法だと思います。反対に英語に集中するのもありだし、英語・韓国語どちらともしっかりやりたい、というのも全然あります。環境には本当に恵まれているので自分のやりたいこと、集中したいこと、伸ばしたいところによって留学生活をどのように生活するか決めればいいと思います。1 学期間でも 2 学期間でも留学することによって学べることはたくさんあるし、ここでしかできない経験もたくさんあります。寮で虫を見たことが無いくらいとてもきれいで(道はたまに汚かったり臭かったりしますが…)食べ物もとても美味しく、交通費も安いところです。また、漢陽大学がある往十里というところは学生街になっていて、食べ物屋やカフェ、日用品の買い物には全く困らないくらい便利なところなのでとても生活しやすいです。勉強も、生活もしやすいところです。もし、興味がある方がいれば是非漢陽大学校に留学してみてください。